



同校は各種スポーツ指導スキルやスクール運営のマネジメント、教育のための人間学を学ぶスポーツマネジメント学科を備え、卒業後は原則として同社に入社できるというシステムだ。初年度の今年、入学希望者は全国から集まり、大卒はもちろん社会人も多数入学し、プロのスポーツ指導者を目指している（2012年度より2年制で高卒も募集開始）。

さらに、プロスポーツ選手のセカンドキャリア採用にも積極的な姿勢をとっており、今年度から専門部署を設置。プロ野球の球団マネージャー歴任者を配置し、引退後もスポーツを職種にできる道を開拓している。これは「日本のスポーツを変え、良くするためにはプロが輝いていないといけない」ところが、引退後にスポーツを仕事にできる選手は一握りというのが現状にある。まずは意識改革が必要だが、若い選手は当校で学ぶこともできる」という思いからだ。「もちろん元プロであれば誰でも採用するわけではないが、若い選手であれば理念や指導スキルは同校で学ぶことができる。中学生クラスは元プロ選手が教



リーフラススポーツ照葉
〒813-0017
福岡市東区香椎照葉3-1-10

7月には、行政と地域からの声に応える形で、福岡市東区香椎照葉3丁目目総合スポーツ施設「リーフラススポーツ照葉」をオープン。この施設は、ヨガやリズムエクササイズ、剣道のためのスタジオや、キッズルーム、シアターホール、屋外には人口芝のフットサルコートも備えており、大人から子どもまで活用できる。同社が開発するサッカー（ガールズサッカー）、バスケットボール、リズムミック空手、剣道、バスケ、テニス、ヨガ（全世代向け）の全スクール種目が利用できるのはここだけで（野球、バスケは近隣小学校を使用）、伊藤社長は「幼少

リーフラス株式会社
〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-3-8 RKB放送会館
TEL 092-832-8015
FAX 092-832-8016
URL <http://www.leifras.co.jp>

スポーツ&航空ビジネス専門学校
〒814-0002
福岡市早良区西新6-10-30
フリーダイヤル 0120-310-908
URL <http://www.sports-airline.ac.jp/>



地域社会の抱える問題を抽出し、解決するソーシャルビジネス。そのパイオニアとして注目を浴びるのが、「ココロに体力を。」のテーマのもとに、スポーツを通して子どもたちの人間性を育てる総合スポーツサービスを手掛けるリーフラス(株)（福岡市早良区百道浜2丁目、伊藤清隆社長）だ。全国で低学年向けスポーツスクールを展開し、会員数は2万6千人を超える。同社は「日本のスポーツを変え、デザインする」という目標のもと、これまでの日本スポーツ界に蔓延していた「しごき」や「暴言」といった「スポーツ根性主義」を一切排除。スクールでは体力や技術だけでなく礼儀や相手に対する思いやり、リーダーシップなど、社会で必要とされる「人間力」を身に付けることを第一としている。この教育理念が全国へと広まり、賛同者も増加したことで、小学生に対するスポーツ指導はこの数年で大きな変化を見せてきた。

しかし、その一方で中学校の部活動には以前多くの課題が残る。伊藤社長は「中学校の部活動は2極化の状態が多い。一つは先生による『しごき』や体

「リーフラス型マネジメント」で スポーツと子どもたちの可能性を育む



Profile 伊藤 清隆 社長

愛知県出身。1963年11月21日生まれの47歳。国立琉球大学教育学部卒。趣味はスポーツと読書。2010年4月初の自著「100%正社員主義」を発行。

罰、長時間の無理な練習が挙げられる。もう一つは顧問制度による競技未経験者の指導で、これは指導者不在と同じ状態となる。練習カリキュラムの組み立てが出来ず、生徒のみによるいびつな部活動運営となってしまう。特に思春期の中学生の心は複雑で、人間関係の摩擦が生じることもある。善し悪しをきちんと教える人間が必要だ」と危惧する。同社には近年、保護者や学校側からこうした問題の相談が寄せられており、中学校部活動指導への参入を模索。これまではボランティアで1週間に1回、中学校部活動へ指導員を派遣し、練習カリキュラムの再構築や、適切なコーチングによって練習を効率化、練習時間を短縮し、成長

期の身体への負担を減らしている。そして今年からは、もつと指導を受けた生徒のために中学生クラスを開設。現在は、福岡市内の2校で部活動指導を実施しており、今後は全国20校での指導と中学生クラス設置を視野に入れている。子どもたちの可能性を潰さないための部活動健全化に向け、大きな一歩を踏み出す。

また、同社の日本のスポーツを変えるための教育は、子どもたちだけに限定されない。今年4月には、「スポーツ&航空ビジネス専門学校」（同区西新6丁目）を開校。

採用門戸を広げ、 スポーツ人口の裾野を拡大

えれば技術面を考えれば適している」と説明する。加えて、ゴールボールや車イスバスケットなどの障がい者アスリートの採用も進めており、将来的には障がい者のスポーツコーチングにもつなげる。これまでは、ほぼ新卒採用のみで人材を厳選してきたが、新たな門戸を開くことで安定した人材確保とスポーツ人口の裾野を広げていく。

総合スポーツ施設 「リーフラススポーツ照葉」オープン

期からさまざまなスポーツを体験し、好きなスポーツを選べることは重要。地域全体が子どもたちの環境について考えながら街づくりを進めている。我々はスポーツを通して地域の教育環境整備に貢献していく」と意気込む。昨年より、照葉地区を中心に、福岡市と多くの健康やエコに関するイベントを共催してきた同社。行政、地域とともに、全国有数の文教モデル地区構築を実現させている。

これまで地域社会が解決できなかった問題にさまざまな角度からアプローチし、独自の「リーフラス型マネジメント」によって解決に導く同社。未知なる道を開拓し、スポーツと子どもたちの持つ可能性を育んでいく。